

1 (1) 起こりうるすべての場合は 10通り。これらは同様に確からしい。

$$\{\text{A, B}\}, \{\text{A, C}\}, \{\text{A, D}\}, \{\text{A, E}\}$$

$$\{\text{B, C}\}, \{\text{B, D}\}, \{\text{B, E}\}$$

$$\{\text{C, D}\}, \{\text{C, E}\}$$

$$\{\text{D, E}\}$$

A が選ばれる場合は、4通りあるから、求める確率は  $\frac{4}{10} = \frac{2}{5}$

(2) 男子1人、女子1人が選ばれる場合は、\_\_\_\_\_がついた場合で6通りあるから、求める確率は  $\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$

(3) (男子だけまたは女子だけが選ばれる確率)  
 $= 1 - (\text{男子1人, 女子1人が選ばれる確率})$

であるから、求める確率は  $1 - \frac{3}{5} = \frac{2}{5}$

2 (1)  $\{\text{赤1, 赤2}\}, \{\text{赤1, 白1}\}, \{\text{赤1, 白2}\}, \{\text{赤1, 白3}\}, \{\text{赤1, 白4}\}$   
 $\{\text{赤2, 白1}\}, \{\text{赤2, 白2}\}, \{\text{赤2, 白3}\}, \{\text{赤2, 白4}\}$   
 $\{\text{白1, 白2}\}, \{\text{白1, 白3}\}, \{\text{白1, 白4}\}$   
 $\{\text{白2, 白3}\}, \{\text{白2, 白4}\}$   
 $\{\text{白3, 白4}\}$

起こりうるすべての場合は 15通り。これらは同様に確からしい。

(2) 1個が赤玉で、1個が白玉になるのは、\_\_\_\_\_がついた場合で8通りあるから、求める確率は  $\frac{8}{15}$

3 A, B の2人でじゃんけんをするとき、その手の出し方は右の樹形

図のようになる。起こりうるすべての場合は 9通りあり。

これらは同様に確からしい。

(1) あいこになる場合は

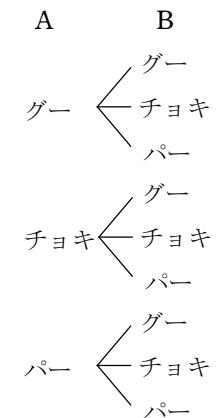
$$(\text{グー, グー}), (\text{チョキ, チョキ}), (\text{パー, パー})$$

の3通りあるから、求める確率は  $\frac{3}{9} = \frac{1}{3}$

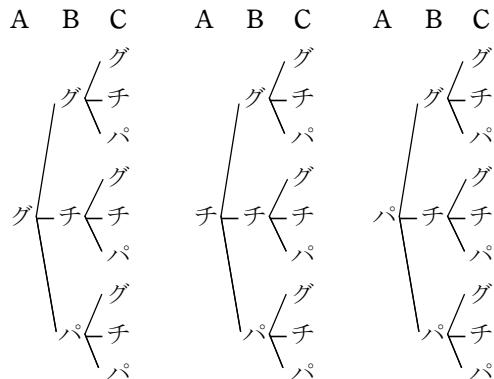
(2) A が勝つ場合は

$$(\text{グー, チョキ}), (\text{チョキ, パー}), (\text{パー, グー})$$

の3通りあるから、求める確率は  $\frac{3}{9} = \frac{1}{3}$



4 起こりうるすべての場合は 27通り。これらは同様に確からしい。



(1) 全員が異なる手を出して引き分けとなる手の出し方は

$$(\text{グー, チョキ, パー}), (\text{グー, パー, チョキ}), (\text{チョキ, グー, パー}),$$

$$(\text{チョキ, パー, チョキ}), (\text{パー, グー, チョキ}), (\text{パー, チョキ, グー})$$

の6通りあるから、求める確率は  $\frac{6}{27} = \frac{2}{9}$

(2) 全員が同じ手を出して引き分けとなる手の出し方は

$$(\text{グー, グー, グー}), (\text{チョキ, チョキ, チョキ}), (\text{パー, パー, パー})$$

よって、引き分けとなる手の出し方は  $6 + 3 = 9$ (通り)

求める確率は  $\frac{9}{27} = \frac{1}{3}$

- (3) Aだけが勝つ手の出し方は  
(グ, チ, チ), (チ, パ, パ), (パ, グ, グ)  
の3通りあるから, 求める確率は  $\frac{3}{27} = \frac{1}{9}$

- (4) 1人だけが負ける手の出し方は  
(グ, グ, チ), (グ, チ, グ), (グ, パ, パ),  
(チ, グ, グ), (チ, チ, パ), (チ, パ, チ)  
(パ, グ, パ), (パ, チ, チ), (パ, パ, グ)  
の9通りあるから, 求める確率は  $\frac{9}{27} = \frac{1}{3}$

5 表から、起こりうるすべての場合は8通り。

これらは同様に確からしい。

- (1) 表の出る硬貨の金額の合計が60円になるのは  
(表, 表, 裏)

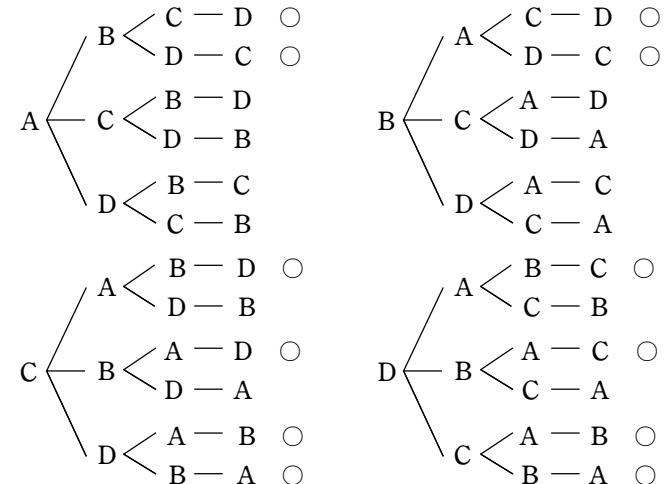
の1通りあるから, 求める確率は  $\frac{1}{8}$

- (2) 表の出る硬貨の金額の合計が55円以上になるのは  
(表, 表, 表), (表, 表, 裏), (表, 裏, 表),

の3通りあるから, 求める確率は  $\frac{3}{8}$

50円	10円	5円	金額
表	表	表	65円
表	表	裏	60円
表	裏	表	55円
表	裏	裏	50円
裏	表	表	15円
裏	表	裏	10円
裏	裏	表	5円
裏	裏	裏	0円

6 (1)



上の図から、起こりうるすべての場合は24通りある。これらは同様に確からしい。

- (2) AとBがとなり合う場合は、上の図に○をつけた12通りある。

よって、求める確率は  $\frac{12}{24} = \frac{1}{2}$